

## 編集後記

▼お待たせいたしました。「現代宗教研究」第四十九号をお届けします。

▼昭和三十九年四月七日に設立された日蓮宗現代宗教研究所は、平成二十六年に五十周年を迎えました。今号は、現宗研創立五十周年記念として企画した、シンポジウムや座談会の内容を収録し、記念号といたしました。

▼「記念座談会」は、平成二十五年の第四十六回中央教化研究会議において開催した、創立五十周年記念座談会「現宗研の五十年と教化学の現在」の内容を収録したものです。現存する現宗研所長経験者、主任経験者の方にお集まりいただき、往時を振り返るとともに、現宗研と本宗の現在と未来を語り合っていました。

▼第四十七回中央教化研究会議では、人口減少問題をテーマに取り上げ、人口減少社会に於いて私たち宗教者の果たすべき役割とその可能性について討議しました。北海道大学の櫻井義秀教授の基調講演、そして、この五十年の現宗研と本宗についての三原所長の基調報告を収録いたしました。是非、ご一読下さい。

▼平成二十六年度第二十五回「法華経・日蓮聖人・日蓮

教団論研究セミナー」は、現宗研創立五十周年記念シンポジウムとして、「五十年後の心を考える」をテーマに開催いたしました。元総務大臣片山善博氏、京都大学准教授八代嘉美氏、立正大学学園理事長古河良皓師による、五十年後の日本・生命・寺院を検討するご講演と、質疑応答を収録しました。五十年後に予想される人口減少超高齢社会は如何なるものなのでしょうか。それを、豊かな心で過ごし得る、安穏な社会とするために、私たち日蓮宗僧侶は何を為すべきなのでしょう。

▼研究ノートは、例年通り、研究員諸師のそれぞれの研究成果を収録しております。現宗研内の研究調査分担によるもののみならず、研究員個人の研究課題にのっとりたものなど様々ですが、概ね現宗研の「研究例会」に於いて発表されたものであり、現宗研の研究調査対象の多様性の一端を知っていただけかと思えます。

▼ミニ講演は、平成二十六年五月に行われた「教化センター連絡会議」に於ける、乙骨正生氏の「創価学会の現状について」のご講演を収録しました。創価学会問題は、現宗研創立の契機であり、今後とも研究調査テーマの柱の一つとなるものと考えております。

(T・S生)